

# こうのとりの通信

～兵庫県助産師会だより～

一般社団法人 兵庫県助産師会  
第1号(13) 平成 24 年 9 月 15 日発行  
(発行部数 400 部)

発行責任者 岡田 浩子  
編集責任者 中村 京子  
神戸市中央区花隈町 9-25  
グラン・ピア下山手通 003  
TEL : 078-362-1310  
FAX : 078-362-2737  
URL : <http://www.o-stork.jp>

## ごあいさつ

一般社団法人兵庫県助産師会  
会長 岡田浩子

今年は何年にもない猛暑となりましたが、皆様にはお変わり  
ございませんでしょうか。今年ほど、豪雨、雷、竜巻など  
自然災害に悩まされる年はないのではないのでしょうか。いつ  
も会の運営にご協力ありがとうございます。

さて、皆様も既にご承知のように平成 24 年 5 月 24 日に  
「一般社団法人兵庫県助産師会」が設立しました。理事  
10 人 監事 2 人にて会の運営に当たっています。また、今年  
は会が発足して 80 年という記念の年です。11 月 3 日には  
80 周年記念式典を開催します。

支部当時の役員が 4 人と経験者が少ない中でのスタート  
となりましたが、全員で力を合わせて、日々邁進しています。今年のスローガンは  
「絆 ～助産師と助産師・母と子・地域と地域～」です。目標の「社会的自立」を目  
指しお互いに努力いたしましょう。理事会と会員の皆様との風通しを良くすることは  
当然ながら、三部会・ブロック代表者とも密に連絡を取りたいと思っています。  
ホームページも迅速に更新していきたいと思っておりますので時々は開けてご覧ください。

最後に乳幼児の虐待のニュースがあとを絶ちません。産後にお母さんに寄り添える  
のは助産師です。どうかお母さんたちにうっとうしいと言われるぐらいに目を注いで  
ください。あかちゃんを救うことは勿論お母さんを救うことにもなります。また個人  
情報の保護に努めること、うつぶせ寝を勧めないこと、母子早期接触時の観察も願  
いいたします。

今後とも、会員の力を合わせて兵庫県助産師会を発展させ、社会に貢献していきま  
しょう。



# (社)日本助産師会 通常総会 報告

社団法人日本助産師会 通常総会（平成 24 年 5 月 18 日）

千葉県浦安市にて平成 24 年度 社団法人日本助産師会総会が開催されました。総会に先立ち「社団法人日本助産師会創立 85 周年記念式典」が開催され、厚生労働大臣表彰（39 名）、日本助産師会会長表彰（55 名）が授与されました。表彰の皆様が晴れやかに着飾り居並ぶ姿に、会場から拍手が大きく響きました。

## 【総会について】

1 号議案（名誉会員の推薦）から平成 23 年度事業報告及び平成 24 年度事業計画等、6 号議案までは滞りなく代議員全員（出席 83 名）挙手にて承認されました。

大きな関心事は、会費改定と公益法人移行遅延についてです。7 号議案の会費改定について、会場では盛んに議論されました。会費改定案可決後、平成 25 年度からの実施予定について説明がありました。資料では、平成 25 年度日本助産師会（公益法人移行後）の必要経費について提示されました。兵庫県支部の総会で議論された際には、値上げ根拠となる資料がありませんでしたが、事前に公表されていたとして会費改定資料を入手されていた地区もあり、そのことも会場では発言が行き交いました。事業分類 6 項目の必要経費の一つは

「大規模災害対策」です。東日本大震災後の新たなハザードマップによると、荒川氾濫により会館一帯が 24 時間以内に 2～5m 浸水するため、会館改修等を要するというものです。改修後は他事業の経費への充当が計画されています。代議員に託された投票数は、約半々の割合で辛うじて承認（賛成 44 票）されました。平成 25 年度から本部会費は 15,000 円になります。

公益法人移行遅延については、総会前に会場で配付された 4 月 26 日付の資料を中心に説明を受けました。概略は、本部顧問税理士事務所より紹介された行政書士事務所職員が、申請作業を中断したことが事の発端でした。職員は本部及び顧問税理士の問い合わせに、内閣府の審査が進行しているかのように装っていました。

今後は、申請作業を公益法人移行申請の業績がある行政書士に依頼し、業務を引き継いでもらい、総会后早期の公益法人化を目指すとのことでした。目安として、公益法人スタートを平成 24 年 10 月 1 日とし、社団法人と公益法人の決算をその後に行うということです。公益法人日本助産師会が設立され、より専門的な部分が高められるよう願っています。（文責：稲岡）

日本助産師会兵庫県支部代議員

助産所部会	岡田光恵
保健指導部会	稲岡道子
勤務助産師部会	宮田和美



# 理事会報告

庶務担当理事 坂田富貴子

社団法人日本助産師会兵庫県支部通常総会終了後、5月23日に第1回理事会が開かれました。理事・監事が定款に押印し、5月24日一般社団法人兵庫県助産師会が設立しました。

その後は月1回、理事会を開催しています。理事会では、組織の強化と充実、各事業の企画・運営についてなどに時間を費やし審議しています。業務担当理事（p.8組織図参照）が決まってからは、三部会・ブロック代表会・委員会会議も開催しました。理事会運営にあたってはメーリングリストの活用や、統一した形式による文書での議事の提案や資料作成を行い、審議事項に関しては、詳細な議事録を残すことで透明性のある会の運営を心がけています。

会員への情報の伝達と理事会および事務局との連携がうまくいき、会の運営を円滑に行えるように理事・監事一体となって活動しています。多くの会員の皆様に会の運営に携わっていただくと共に、ご理解とご協力をお願いします。

## 部会だより

### 〈助産所部会〉

部会長 石村朱美

部会長になって2期目を迎えました。部会の皆様一人ひとりの協力なくしてはこの会は成り立ちません。諸先輩の残してくれた業績の維持・発展のために頑張りたいと思っています。

**1. 医療法19条に基づく新たな医療連携が実施され今年で5年目を迎えます。**

兵庫県下では7カ所の医療連携機関と数カ所の嘱託医との連携をしています。周産期医療システムにも登録していて円滑な運営が行われていますが、連携は各施設の産婦人科医及び院長との合意が必要です。産婦人科医師が交代した時には新たな約束事が浮上してきます。その都度、連携上の問題にきめ細かく対応していかないと継続の維持に影響を及ぼし、同時に助産所での出産を選んだ母子にも負担をかけることとなります。今年度も連携医療機関とのカンファレンスの機会を積極的

にもちながら各助産所の安全を維持していきたいと思っています。

**2. 助産所部会会員のスキルアップを目指す研修は例年のごとく新生児蘇生フォローアップ研修を実施します。**

一部の助産所では講師を招いて、内部研修も企画されています。また、助産所での実施研修を受け入れる方法も検討中です。これにより勤務助産師部会や保健指導部会との会員相互の親睦と未来の開業助産師の誕生のきっかけになることを願っています。



## 〈保健指導部会〉

部会長 頓田真子

今年新しく兵庫県助産師会が発足し、気持ちも新たにしています。

部会長になり2年目を迎えました。これまでも部会員との連携を大切にしてきましたが、今年からは毎月行われていた部会定例会も隔月となり、顔合わせは少なくなります。そこで、メール等の連絡を通じて各地区からの情報提供・情報交換を行い、会員の活動状況を把握します。また、本部・理事・委員会の情報を伝達し、部会活動状況をお知らせする為の連絡網を作成しています。

### 【部会企画の研修会】

- ・ベビーマッサージ講師育成研修（応用編）7月29日（日）←終了しました（参加者20名）
- ・先輩助産師に学ぶ「乳房管理一理論・実技」9月9日（日）←終了しました（参加者30名）
- ・電話相談研修（基礎編）10月14日（日）午前
- ・助産師による新生児訪問研修 10月14日（日）午後

### 【今後の定例会】

8月18日、10月13日、12月15日、3月2日 10:00～ 事務所にて  
（各委員、各ブロック長又代理、その他多くの会員の方の出席を歓迎いたします。）

活動の1つである子育て女性支援センターへの協力は、孫育て・ベビーマッサージ・子育てサポートのための冊子作成…など、これからも参加したいと思っておりますので部会員の参加協力をお願いします。

助産師としての目標はいろいろあると思いますが、部会として、会員の為に今もこれからも役に立つ企画を作成しています。地域にいる助産師が母親や家族への相談・支援に活かせる事が出来ればと考えています。

## 〈勤務助産師部会〉

部会長 総毛 薫

平成24年5月、一般社団法人兵庫県助産師会として大きな社会的な責任とともに、今まで以上に妊産婦さんの期待に応えることができる新しい組織がスタートしました。同時に勤務助産師部会役員も一新され、部会長（総毛薫）、副部会長（宮田和美）、監査（梅澤路絵、浦島裕美子、本田利江子）で勤務部会の活動をおこなっていくことになりました。助産所部会、保健指導部会の方々と協働し、より一層の連携をとっていききたいと考えています。部会の枠を超えて、それぞれの強みを共有させて頂くことは、安全で快適で満足いく妊娠、出産、育児環境を確保することにつながります。また、寄り添うケアができる助産師を「育てる」、「育つ」機会が提供でき、院内助産の設立においても、大きな支援になると考えています。

今年度の活動目標は「勤務助産師部会活動の継続と発展」です。

- ① 新人からベテラン助産師まで、系統的に研修を企画実施しフォローアップができる  
教育委員会と連携し、勤務助産師並びに開業助産師の技術の維持向上、勤務助産師のキャリア発展に有益な研修として、「新人フォローアップ研修」「ファシリテーター養成講座」を実施していきます。
- ② 兵庫県助産師会活動の認知度を把握し、広報活動を積極的にこなうことで会員を獲得できる  
教育施設、病院、診療所での助産師会の活動、認知度を把握します。また、助産師会の活動を広報することで、会員を増やしていきたいと考えています。

以上が勤務助産師部会の目標および活動内容です。これからも多くの会員の方々のご意見を頂きながら活動の充実を目指していきたいと考えています。



# 研修会のご案内

平成 24 年度は、嶋澤担当理事と 10 名の教育委員で活動をスタートしました。今年度は総会において 4 つの教育目標（①助産実践能力の向上のための研修の充実、②人材育成のための継続的な研修の充実に加えて、③院内助産への支援、④若手助産師の育成）が承認され、15（昨年 11）の研修を計画しています。次年度にむけて、研修を評価し目標到達できるように努力していきたくと思います。多くの会員の方のご参加をお待ちしています。

（教育委員長：郷原寛子）

## 平成 24 年度 兵庫県助産師会 研修予定

	研修タイトル	開催日
1	災害時の役割を考え、災害物品を体験試食しましょう	6月24日(日)13:30~16:30 11月18日(日)に変更
2	新人助産師フォローアップ研修 終了しました(参加者12名)	7月7日(土)14:00~17:00
3	不妊症と不育症 終了しました(参加者15名)	7月8日(日)13:30~16:30
4	ベビーマッサージ講師育成研修(応用編) 終了しました(参加者20名)	7月29日(日)9:30~16:30
5	基礎から学ぶ生と性の教育(3年コース)	8月19日(日)9:30~16:30 平成25年2月17日(日)に変更
6	新生児蘇生法講習会Bコース 終了しました(参加者24名)	8月26日(日)13:30~16:30
7	先輩助産師に学ぶ「乳房管理ー理論・実技ー」 終了しました(参加者30名)	9月9日(土)9:30~16:30
8	新生児蘇生法講習会Aコース(会員優先)	9月30日(日)10:00~16:30
9	電話相談研修(基礎編)	10月14日(日)9:30~12:30
10	助産師による新生児訪問研修	10月14日(日)13:30~16:30
11	助産記録の重要性と法的責任	11月11日(日)13:30~16:30
12	助産師に必要な超音波の基礎知識と実際(会員優先)	12月9日(日)9:30~16:30 12月15日(土)に変更
13	周産期の助産診断・助産技術ー保健指導に助産師力が発揮できていますかー	1月20日(日)9:30~16:30
14	一緒に成長するためのファシリテーター養成講座	2月16日(土)13:30~17:00
15	新生児蘇生法フォローアップ	未定(2月)14:00~17:00



# topics (トピックス)

このコーナーでは、皆さんに知っていただきたい最近の出来事や助産師会からのお知らせを紹介します。

## ～日本助産師会より～

### 1. 会員に向けての注意喚起

平成 24 年 7 月、岡本会長より会員に向けて以下の注意事項と見解が出されました。詳細は別紙を参照してください。

- ・早期母子接触実施に際しての注意事項について
- ・母乳育児支援に関する本会の見解について

### 2. 分娩基本データ収集システム導入について

社団法人日本助産師会では、助産所分娩の成果をデータ化するシステムを開発しています。全国總會においても IT 化は承認され、プロジェクト委員会が IT 専門家とともに準備しています。助産所の安全・安楽な出産実績を社会に示すには、全国のデータが非常に重要です。また全国の助産所の正確で迅速なデータ収集は、助産師の職能組織としての責務であるともいえます。助産師だけで運営している助産所のデータを示すことは助産所の実績評価のみならず、院内助産や病院内の助産師活動にも役にたつデータ提供ができると考えています。

アンケート結果によると約半分の助産所 240 か所がこのシステム化に参加したいと表明しています。2012 年 11 月ごろから試行的に参加希望助産所がシステムを動かし使い勝手に対する意見を集めさらによいシステムとするプロセスを踏んでいきます。2013 年 4 月には正式に稼働する予定です。

初期開発経費は一般社団法人日本助産師会が支払いますが、年間の維持運営費に関しては、各都道府県、各助産所が月額 500 円（年額 6000 円）を支払うこととなります。ご理解とご協力よろしくお願いたします。

社団法人日本助産師会システム化プロジェクト

委員長：安達久美子

委員：毛利多恵子・葛西圭子・今村理恵子・山岸由紀子

システムコンサルタント：宇羅勇治

事務局：峰岸まや子

(委員：毛利多恵子)

### 3. 平成 24 年度近畿地区研修会について

ぜひご参加ください

テーマ：「我（われ）を知る ～人として助産師として～」

期日：平成 24 年 10 月 19 日（金）～10 月 20 日（土）

会場：明日香村健康福祉センター

〒634-0143 奈良県高市郡明日香村大字立部 745

申込締切：9 月 17 日（月） ※締切後も受け付けます

# ～兵庫県助産師会より～

## 1. 健康診断受けていますか？

皆様、毎年定期的に健康診断を受けていますか。お母さんと赤ちゃんの健康管理には、助産師自身の健康管理が不可欠です。定期的に健康診断を受けるよう心がけましょう。

### <日本助産師会安全管理基準より>

#### ●助産所の安全管理基準（平成 18 年 12 月発行）

##### 4. 人事管理

- 6) 定期的な健康診断を実施し、従業員の健康管理を図ると共に自己管理ができるような指導を行う。  
(1年に1回 健康福祉センターにて受ける)

#### ●保健指導開業助産所の安全管理基準（指針）（保健指導部会：平成 24 年 4 月発行）

##### 4. 人事管理

- 5) 1年に1回は健康診断を実施し、従業員の健康管理を図ると共に自己管理ができるような指導を行う。

## 2. 個人情報の管理に気をつけましょう！

今年6月、神戸市の新生児訪問指導員が個人情報を紛失するという事件が生じました。この事を受けて兵庫県助産師会では緊急セミナー「助産師が知っておくべき新生児訪問の最新知識」を開催しました。研修会ではさまざまな問題点が浮き彫りになり、個人情報の取り扱いに関する注意喚起がなされました。必要以上の個人情報を持ち歩かないように気をつけ、個人情報は厳重に管理するようお願いいたします。

## 3. 80周年記念式典について

今年度、兵庫県助産師会は80周年を迎えます。それを記念して80周年記念式典が開催されます。皆様、是非ご参加ください。

日 時：平成 24 年 11 月 3 日(土) 10 時～15 時

場 所：神戸ポートピアホテル 本館 B1 「偕楽の間」

神戸市中央区港島中町 6-10-1 TEL：(078)302-1111(代表)

参加費：10,000 円（食事代込）

お申込み方法：案内ちらし裏面に必要事項を記入し、FAXまたは郵送にてお申し込みください。

### メンバー募集！

80周年記念式典(祝賀会)で会員によるコーラスとフラを披露します。「一緒にやってみよう！」と思われる方は事務所にご連絡ください。皆様の参加をお待ちしています!! (締切 10 月上旬) コーラス担当:中井恭子 フラ担当:永原郁子

## 4. ホームページについて

会員の皆様の声を反映しながら更新していきたいと思っています。ぜひ、ご覧ください。

**ホームページアドレス** <http://www.o-stork.jp>

会員専用ページのパスワードは兵庫県助産師会だより第 10 部（8 ページ）をご覧ください。助産師会だよりの無い方、お急ぎの方は助産師会事務所までお問い合わせください。

# 平成 24 年度 一般社団法人兵庫県助産師会 組織図 (平成 24 年 9 月 6 日)

## (会長・理事・監事)

会長・代表理事	岡田 浩子
表彰委員会担当理事	
第1副会長	稲岡 道子
公益事業推進委員会担当理事	
第2副会長	永原 郁子
三部会担当理事	
80周年記念式典実行委員会理事	
庶務担当理事	坂田富貴子 奥 陽子
会計担当理事	藤井ひろみ
教育委員会担当理事	嶋澤 恭子
福祉厚生委員会担当理事	
安全対策委員会担当理事	毛利多恵子
広報委員会担当理事	井上 千秋
ブロック担当理事	立山サナミ
災害対策委員会担当理事	
監 事	高田 昌代 中井 恭子

## (顧問)

顧 問	川口 芳子
-----	-------

## (会計幹事)

会計幹事	近藤 千恵
------	-------

## (委員会)

教育委員	◎郷原 寛子
	稲生佐枝子
	加須屋淳江
	嶋坂 広美
	目木 純子
	楠 真理子
	藤木 千恵
	山名 華代
	谷口 真紀
	槻木 直子
担当理事 嶋澤 恭子	
安全対策委員	◎小河原みゆき
	段林 智子
	石村 朱美
	編塚さつき
	中山 董
	岸本喜代子
担当理事 毛利多恵子	
公益事業推進委員	◎竹中 靖子
	赤松 彰子
	藤原三千世
	西部多江子
担当理事 稲岡 道子	
広報委員	◎中村 京子
	岡村 明美
	中野 純子
	赤川 由美
	金川 景子
	◎村上恵美子
担当理事 井上 千秋	
福祉厚生委員	◎村上恵美子
	秋山 敦子
	庄村佳世子
担当理事 嶋澤 恭子	
災害対策委員	◎青山 恭子
	住岡まどか
	上田 弓子
	今村佐知子
	小城 知美
	◎小坂 素子
担当理事 立山サナミ	

## (専門部会)

担当理事 永原 郁子	
助産所部会	◎石村 朱美
	稲生佐枝子
	高橋八重子
	加須屋淳江
保健指導部会	◎頼田 真子
	藪内 悦子
	椎山美恵子
	大石由記子
勤務助産師部会	◎総毛 薫
	宮田 和美
	本田利江子
	浦島裕美子
	梅澤 路絵

(◎印…部会長)

## (ブロック代表)

担当理事 立山サナミ	
神戸ブロック	藤原三千世
阪神南ブロック	加須屋淳江
阪神北ブロック	岡田 光恵
東播磨ブロック	絹巻 敏子
中播磨ブロック	齊藤真智子
北播磨ブロック	松田 幸代
西播磨ブロック	浦島裕美子
淡路ブロック	本田利江子
丹波ブロック	牧野 尚子
但馬ブロック	松本 敦子

## (特別委員会)

表彰委員	◎小坂 素子
	川口 芳子
	絹巻 敏子
会長 岡田 浩子	
80周年記念式典 実行委員	◎小坂 素子
	国廣 晴美
	総毛 薫
	池田 智美
	大谷 由香
	緩詰由紀子
	坂田富貴子(理事)
	嶋澤 恭子(理事)
	藤井ひろみ(理事)
	毛利多恵子(理事)
担当理事 永原 郁子	
(相談役) 川口 芳子	
(相談役) 稲垣よしゑ	

(◎印…委員長)

会員総数 345人 (平成 24 年 7 月 31 日現在)

新規会員募集中 (まだ入会されていない方に入会をお勧めください)

## 編集後記

一般社団法人兵庫県助産師会が設立されて初めての兵庫県助産師会だよりです。タイトルを「このとり通信」に改め、ご執筆者の方々のご協力を得て、広報担当理事と広報委員が力を合わせて編集致しました。会員の皆様が、「このとり通信」を待ち遠しく思えるような紙面にしていきたいと思ひます。また、この紙面が会員の皆様の情報発信の場となればよいと考えますので、会員の皆様のご投稿をお待ちしています。事務所 広報委員会宛にお送りください。

(中村京子)